

みさと社協だより

# こころ

2016.3

第58号

発行/社会福祉法人  
美郷町社会福祉協議会  
TEL 75-1345(代表)  
FAX75-1439

印刷/有)つきはし印刷

第4回

## 地域福祉力アップ研修会



## あいサポーター養成研修

(関連記事：P5)

SUPPORTER

美郷町共同募金助成事業  
平成27年度 小・中学校 児童・生徒

福祉作文

美郷町内小・中学校では、福祉活動の推進に取り組んでおられます。

町社会福祉協議会では、事業の一環として福祉作文の募集をしました。色々な体験を通しての素直な作品の応募を沢山いただきました。

審査の結果、次の方々が入賞されました。その中で最優秀の作品を紹介いたします。

賞	学校名	学年	氏名
●小学校低学年の部			
最優秀賞	大和小	2	秋葉真麻
優秀賞	邑智小	2	宅間優人
佳作	邑智小	2	旭林範親
佳作	邑智小	1	高田あたる
佳作	大和小	1	玉岡心都
佳作	邑智小	2	原野裕生
佳作	邑智小	1	水黒美海
佳作	邑智小	2	山下志歩
○小学校中学年の部			
最優秀賞	邑智小	4	中村亜輝
優秀賞	大和小	4	藤田さや
佳作	邑智小	3	竹内愛桜
佳作	大和小	3	中原綾之介
佳作	邑智小	3	中村心緑
佳作	邑智小	3	日野原楓
佳作	邑智小	4	吉迫英汰

賞	学校名	学年	氏名
○小学校高学年の部			
最優秀賞	邑智小	5	山根平
優秀賞	大和小	5	坂本茉歩
佳作	邑智小	6	河本望夢
佳作	大和小	6	田邊治樹
佳作	邑智小	5	馬崎七星
佳作	邑智小	6	日野原萌
佳作	邑智小	6	藤田鈴美
佳作	邑智小	6	安田明日香
○中学校の部			
最優秀賞	邑智小	1	河本未夢
優秀賞	大和小	2	藤田佳穂
佳作	邑智小	1	松田華美
佳作	邑智小	2	道下陽菜
佳作	邑智小	3	神崎莉奈
佳作	大和小	3	中原みなみ
佳作	大和小	3	西嶋亮介



小学校低学年の部・最優秀賞

『ありがとうの花』がさいたよ 大和小学校2年 秋葉真麻

わたしたち二年生は、『ありがとうの花』という歌が大すきです。歌の中に、「ありがとうって言ったら、みんながわらってる。その顔がうれしくて、なんどもありがとう。町の中にさいてる、ありがとうの花」という歌詞があって、わたしたちは、「ありがとう」をつたえたい時にこの歌を歌っています。

もう一つ、本当に「ありがとうの花」のたねもまいてそだてています。「ありがとうの花」はパンジーで、地いきの方との交りゅうのおれいにわたしたくて、みんなでそだてることにしました。

地いきの方との交りゅうは、五月にたけのこほり、十月はくりひろいでした。わたしはおせわになってうれしかったことがいろいろあります。たけのこほりの時には、竹やぶの草をかったり、たけのこのまわりの土をほったりして、わたしたちがほりやすいようにしてくださいました。

くりひろいのは、くりのいがを木からおとさしてさって、くりがとりやすかったです。それから、朝早くからくりごはんやごちそうを作ってくださいさって、とてもおいしかったです。

ごちそうを食べた後、たくさんおせわになったおれいに、『ありがとうの花』の歌を歌ったり、「ありがとうの花」をプレゼントしたりしました。歌っている時に、みなさんの顔がうれしそうでした。お花をわたした時も、「上手にそだてたね。ありがとう。」

と、言ってくださいました。

わたしは、わたしたちの「ありがとう」の気持ちごといたからよろこんでくださったんだと思いました。みなさんのえ顔を見て、「ありがとう」の気持ちをどけてよかったと思いました。本当に、歌と同じだと思いました。地いきの方と交りゅうして、どちらからも「ありがとうの花」がいっぱいさいてよかったです。





### 小学校中学年の部・最優秀賞

## 二分の一成人式を終えて

邑智小学校4年 中村 亜輝

「今年の学習発表会は二分の一成人式をやろう。」担任の先生が言われた言葉の意味がぼくには分かりませんでした。先生の説明では、「二十才まで二分の一のみんなで、これまでお世話になった人達にお礼や感謝の気持ちを伝えよう」ということでした。

まず、みんなでこれまでお世話になった人を考えました。ぼくが一番に思いついたのは、家族でした。みんなで考えてみると、毎日声をかけてくださる地域の方、登下校を見守ってくださる青パト隊のみなさん、バスの運転手さん、保育園や学校の先生などたくさんおられることが分かりました。ぼくは、お世話になっている人がたくさんいるなあと思いました。

いよいよ本番をむかえました。色々な人の前で演技をするのでとてもきんちょうしました。ぼくは、二年生をふりかえる役をしました。二回あった台詞は間ち

がえることなくかんぺきに言えたのでよかったです。いよいよぼくの将来の夢を発表する番が来ました。ぼくの夢は、これまで練習や大会の時に送りむかえをしてもらいながら続けてきた野球を中学生でも高校生でも続けて、プロ野球選手になることです。その夢がこれまでお世話になった家族、かんとくやコーチに伝わるように発表しました。これからは、練習を一生けん命して、打ったり守ったりする時にいいプレーができるようになりたいです。かんとくやコーチは、アドバイスをしてくださったり、いいプレーの時にはほめたりしてください。同じチームのお家の方は試合の送りむかえや応援もしてください。たくさんの人に支えてもらいながら大好きな野球ができてうれしいと思います。これからも、夢をかなえられるようにがんばりたいです。



### 小学校高学年の部・最優秀賞

## かぎを開けてくれる中村さん

邑智小学校5年 山根 平

ぼくは、家族にももちろん感謝しているけれど、ぼくが毎日安全に登校できるように見守ってくれている方にも感謝をしています。

浜原に住んでいる中村さんは、毎日ぼくのバス停で待ってくださっていて、建物の中でバスを待てるように鍵を開けてくださいます。ぼくが一年生の時から、毎日いつもいてくださっていてお休みされた日は一日もありません。中村さんがいてくださるおかげで、雨の日も、暑い日も寒い日もとても助かっています。そして、朝会うと必ず、

「おはよう。」

と笑顔で声をかけてくださいます。ぼくがいやなことがあってなかなか笑顔になれないときも、いつも笑顔でむかえてくださるので、安心して笑顔になることができます。

ぼくが三年生のとき、バス停で一度だけ友達と大げ

んかをしてしまったことがありました。中村さんはぼくたちの間に入ってけんかを止めてくださいました。けんかをしたことを怒られるかなと思ったけれど、怒ることもなく止めてくれて、話を聞いてくださったので、その友達とも仲直りすることができました。そのとき、やっぱり中村さんは優しいなと思いました。中村さんは、ぼくにうれしいことがあった時も、必ず最後まで話を聞いてくださいます。学校のことや剣道のことをいつも楽しそうに聞いてくださるので、ぼくも中村さんにはたくさん話をしてしまいます。毎朝少しの時間だけれど、中村さんと過ごしている時間はとても楽しいです。

中村さんが毎日バス停にいてくださることを、いつもは普通に感じてしまっているけれど、見守られていることを忘れないで感謝していきたいと思います。そしていつか、ぼくも地域の皆さんの役に立つことができたらいいなと思っています。



### 中学校の部・最優秀賞

## サマーボランティア

邑智中学校1年 河本 未夢

私は、はじめ一年生だからサマーボランティアってどんな感じなんだろうと思ってサマーボランティアに参加しました。私が参加した場所は邑智園です。

はじめは利用者さんがしている作業の見学をしました。私は、簡易作業で、簡易作業には私をふくめて三人がいました。でも、簡易作業には色々種類があってその種類ごとに一人しかつくことができなくて残念だった少し

不安でした。なぜかという見学をした時、利用者さんなどあまり笑顔じゃなかったし、話すことができるのかと心配だったからです。でも、予想を覆すことができました。

私のはじめ行った作業は紙を破って、その破った紙を袋にはる作業でした。その袋は、どこかのお店で商品を入れる袋として使われるそうです。こんな重要な仕事を私がしても大丈夫なのかなと思いました。

紙を破ってみたら意外にかたくてあまり上手にできていないと思っていたけど利用者さんの方から声をかけてもらい「OK! 上出来、上出来。」と笑いかけられました。声をかけられたとき緊張してあまり笑顔になれなかったけど、うれしかったです。今でもそのうれしさを覚えてます。それほど、うれしかったし、こんな小さなことでもうれしいという気持ちを感じることができるんだなあと思いました。

次に行った作業はサイコロのマス作りです。私は利用者さんが字を書いたマスをデコるのを任せられました。私はあまり絵を描くのは上手でも得意でもないけど、絵を描いていたら利用者さんが笑顔で「上手だね。すごい、すごい。」と言ってくれました。「ありがとうございます。」と言ったら笑顔で「うん。」と言ってくれました。とてもうれしかったです。そのあとも、吹奏楽部の話や中学校生活の話などしてとても楽しかったです。

## ● 福祉作文の審査を終えて

「福祉」という言葉を聞いて何を思い浮かべられますか。福祉施設・福祉社会・福祉問題等、人によって思い浮かぶ言葉は、いろいろあると思います。では、どの言葉でも共通なことは何でしょう。「福祉」という言葉には、「福」はもちろん「祉」にも「さいわい・しあわせ」という意味が込められています。人それぞれで感じ方はあると思いますが、共通することは「誰もが幸せに感じられるもの・感じることができるもの」ではないでしょうか。

福祉作文を書く意味は、日々の出来事を「どんな時に、どんなことを幸せに感じたのか」という視点で日常を見ることを通して、何気ない一日が家族や学校の友達・先生、さらには大勢の地域の方によって支えられていることに気づき、お互いを思いやる気持ちを育てることにあると思います。

平成27年度の福祉作文コンクールには、小学校から23点、中学校から7点の作品応募がありました。応募された児童・生徒の皆さん、本当にありがとうございました。

1月25日に福祉作文審査会を開催し、前半に小学校部門の審査（低学年・中学年・高学年別）を、後半に中学校部門（全学年）の審査を行いました。審査員から出た感想は次の通りです。

### ◎小学校部門

- ・低学年の部では、家族や地域の方と一緒に作物を育てることを通して感じたことが、子どもらしい素直な表現で書かれていた。地域の方との温かな心のふれあいが感じられる作品が多かった。
- ・中学年の部では、振り返りを通して自分自身の成長を感じとった作品や、家族と一緒に過ごす日々から気がついたことを書いた作品がみられた。今までやさしく関わってもらったことに対する感謝の気持ちが伝わってきた。また、学校で行っている地域交流活動や福祉施設等の訪問活動から感じたことが、自分の言葉で書

また、このような機会があればいいなあと思いました。

私は、はじめ見た目だけで、この人はこわいや、この人は優しそうなど判断していたけどサマーボランティアで見た目だけで判断をしたりするのはやめようと思いました。それと今回は利用者さんの方から勇気を出して声をかけてくださいました。今度は私の方から声をかけることができるようがんばろうと思います。サマーボランティアの時だけでなく困っている人がいたら自分から積極的に声をかけて助けることができるようにしたいと思います。

私の将来の夢は保育士です。だから今回のサマーボランティアは子供ではないけど、とても貴重な体験をする事ができたので良かったし、少しでも保育士になるヒントになったのではないかと思います。これからもがんばりたいと思います。

かれた作品も見られた。

- ・高学年の部では、自分達が住んでいる地域に目を向け、地域の方との日常交流や地域の行事への参加を通して、地域のよさを感じられる作品が多く見られた。また、隣保館と連携した活動やこれからの町づくりについての作品もあり、多様な視点で物事を見ることができていた。

### ◎中学校部門

- ・学校教育に取り入れられたボランティア体験活動を通して、子ども達の福祉への興味・関心が高まった作品が多かった。体験を通して、一人一人の心の成長が感じられた。
- ・神楽や地域行事への参加を通じた交流体験は、ふるさとの良さを改めて感じることに繋がっている。作文を通して、そこに住む人の温かさを感じることができた。

応募された作文は、この作品集にすべて収録しています。多くの皆様にお読みいただき、作品集が美郷町の「だれもが幸せに感じられる地域づくり・社会づくり」に資することになれば幸いです。

最後になりましたが、ご指導いただきました各校の先生方、また関係者の皆様に厚く御礼申し上げます。

(福祉作文審査員一同)

### 平成27年度 福祉作文審査員

田邊 哲也	美郷町教育長
木川 士朗	美郷町健康福祉課課長
堀尾 亮介	美郷町立小中学校校長会代表
松本 慎二	美郷町共同募金委員会会長
安田 兼子	美郷町連合婦人会会長
寺本 賢司	美郷町内福祉施設関係者
磯竹 洋邦	美郷町社会福祉協議会事業委員会委員長

## 第4回 地域福祉力アップ研修会

平成28年2月27日（土）にみさと館にて益田市身体障害者協会の野村長典事務局長を講師にお迎えし、第4回地域福祉力アップ研修会～あいサポーター養成講座編～を開催しました。

あいサポーターとは障がいを理解し、障がいを持つ方に対してちょっとした配慮を実践する事で、全ての人が住み良い町づくりを行う活動です。

野村事務局長より、一言で障がいと言ってもその人その人によって障がいは異なり、サポートの方法も異なるのだという説明を受けられました。参加された41名の町民の皆様は真剣な姿で障がいについて考えていらっしゃいました。



## 美郷町老人クラブ連合会 第2回 ペタンク交流会

3月2日水曜日、浜原体育館・浜原隣保館で会員64名の24チームでペタンク交流会を開催しました。

開会式では、福島会長より恒例の『笑い』について挨拶がありました。

つづいて、隣保館のホールと体育館に分かれて、試合を開始しました。

試合中は、常に歓声や嘆声・拍手など会場中が終始、にぎやかな雰囲気、熱戦が繰り広げられました。今回は、接戦で、3戦全勝チームが4チームで上位3チームが表彰されました。



## 共同募金運動

多くの皆様から温かいご協力をいただきました。  
厚くお礼申し上げます。

**一般募金 2,601,757円**

本年度、皆様から寄せられた共同募金を島根県共同募金会へ送り、28年度、その寄付金の内約8割が助成事業として社会福祉協議会へ配分されます。

共同募金助成事業では次のような事業を実施しております。

- 地区社協・地区団体への助成
- 高齢者の交流事業
- 福祉作文事業
- 新生児お祝い事業
- 小中学校入学卒業お祝い事業 など

**歳末募金 880,340円**

地域歳末募金につきましては、皆様から寄せられた寄付金を、今年度内に助成を受け、次の事業を実施いたしました。

町内施設への訪問や町内の75歳以上のひとり暮らしの方のお宅へ、社協役員が蕎麦としめ縄を持って訪問させていただきました。また、小学校就学前の幼児の方を対象に、担当地域の民生児童委員よりクリスマスプレゼントをお届けしました。





# お知らせ

お問い合わせは、社協 ☎75-1345までお電話ください。

**入校生  
募集!**

## 介護福祉士実務者研修科(川本)

平成28年度から介護福祉士の国家試験を受験するためには「実務者研修」を修了することが要件となります。介護現場での仕事の幅が広がり、事業所のリーダーとして期待される介護福祉士を目指し、新たなキャリアアップのルートとしていま注目を集めています。

実務者研修

+

実務経験3年

→

介護福祉士国家試験 ※本研修修了により実技試験免除

求職者  
対象

定員  
10名

受講料  
無料

※別途テキスト代等が必要  
です

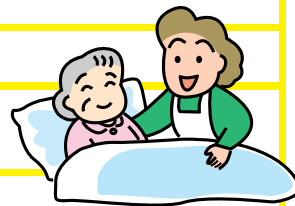
チャレンジできる資格

- 介護職員実務者研修修了者資格
- 介護職員初任者資格
- 同行援護従業者養成研修修了者資格
- 普通救命講習修了証

訓練期間

H28年 5月24日 ~ H28年 11月22日

訓練時間	学科…9:00 ~ 16:30 土日祝休講 ※6か月(職場実習が1か月程度あります) 実習…実習先によって異なります。
募集期間	平成28年2月下旬~5月上旬(予定)
入校検定	平成28年5月 島根県川本合同庁舎(5階 第1会議室) 選抜方法:学科(国語・数学)・面接
合格発表	平成28年5月
訓練会場	邑智地域能力開発センター(島根県邑智郡川本町大字川本265-3 川本合同庁舎2階)
訓練委託先	邑智地域能力開発振興協会 (この訓練は西部高等技術校が民間の事業者訓練指導を委託して行う委託訓練です。)



申込方法	ハローワークの窓口で相談してください。(キャリアコンサルティングを受け、ジョブカードの交付を受ける必要があります。)
受講料	無料 別途テキスト代等27,000円程度必要です。※保険料3,900円を含みます。 ※施設内に駐車する場合は駐車場代1,200円/月が別途必要です ※「チャレンジできる資格」のための受験費用等は必要ありません。
受講中の特典	※雇用保険受給資格者で受講指示を受けられた方は、雇用保険の基本手当、受講手当(上限40日分)、通所手当が訓練修了まで受給できます。 ※雇用保険を受給できない方で一定要件を満たす方は、職業訓練受講給付金(月額10万円)を受給できる場合があります。詳しくはハローワークでお尋ねください。
その他	UIターンしまね産業体験事業(職業訓練型)助成金・託児サービス等については(公財)ふるさと島根定住財団・島根県立西部高等技術校へお尋ね下さい。

### 問い合わせ

島根県立西部高等技術校 ☎698-0041 島根県益田市高津四丁目7-10 TEL 0856-22-2450 担当:木村

邑智地域能力開発振興協会 ☎696-0001 島根県邑智郡川本町川本279 TEL 0855-72-3526 担当:木村・船津

困った時は、お電話下さい。

社協事業・介護保険・相談・苦情 … ☎75-1345  
夜間・休日 … 080-2890-8683